



平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 あい ホールディングス株式会社
 コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀吉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 唐崎 英明
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日 配当支払開始予定日 平成24年3月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

TEL 03-3249-6335

平成24年3月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	13,965	8.7	1,701	29.8	1,973	27.4	1,134	11.7
23年6月期第2四半期	12,847	11.5	1,311	47.2	1,548	30.8	1,015	11.4

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 1,059百万円 (1.9%) 23年6月期第2四半期 1,039百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	20.73	—
23年6月期第2四半期	18.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	31,744		23,381			73.7
23年6月期	31,814		22,759			71.5

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 23,381百万円 23年6月期 22,759百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年6月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年6月期	—	8.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,700	6.5	3,100	4.0	3,500	1.1	2,200	△2.4	40.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年6月期2Q	56,590,410 株	23年6月期	56,590,410 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年6月期2Q	1,871,510 株	23年6月期	1,871,312 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期2Q	54,719,003 株	23年6月期2Q	54,827,237 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による企業活動の停滞から持ち直しつつあり、景気は緩やかな回復傾向で推移したものの、欧州における債務問題や中国の金融引締め政策等を背景とした海外経済の下振れ懸念、為替相場の歴史的な円高基調の継続、長期化する株式市場の低迷等、依然として先行きについては不透明な状況となっております。

このような経済環境のもと、当社グループの経営環境も厳しい状況が続いておりますが、環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は139億6千5百万円（前年同四半期比8.7%増）となり、営業利益は17億1百万円（前年同四半期比29.8%増）、経常利益は19億7千3百万円（前年同四半期比27.4%増）、四半期純利益は11億3千4百万円（前年同四半期比11.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けセキュリティシステムの販売が堅調に推移したこと等により、売上高は28億6千9百万円（前年同四半期比8.9%増）、セグメント利益は4億1千5百万円（前年同四半期比25.0%増）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、カード即時発行機の新商品が販売に寄与したこと等により、売上高は15億1千万円（前年同四半期比39.7%増）、セグメント利益は3億4千6百万円（前年同四半期比105.3%増）となりました。

③ 保守サービス

保守サービスにつきましては、企業の経費削減に伴いスポット修理・点検修理が減少したこと等により、売上高は8億8千4百万円（前年同四半期比6.7%減）、セグメント利益は1億2千8百万円（前年同四半期比8.0%減）となりました。

④ 情報機器

情報機器につきましては、海外市場におけるコンシューマ向け小型カッティングマシンの新商品の販売が好調に推移したものの、スキャナのOEM販売が減少したことや円高の影響を受けたこと等により、売上高は33億1千5百万円（前年同四半期比2.2%減）、セグメント利益は3億7百万円（前年同四半期比13.1%増）となりました。

⑤ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、環境試験装置の設備投資計画が第3四半期以降に繰り延べられたこと等により、売上高は9億7千5百万円（前年同四半期比16.0%減）、セグメント利益は1億1千万円（前年同四半期比43.7%減）となりました。

⑥ 設計事業

設計事業につきましては、耐震診断等の受注増加により、売上高は19億3千8百万円（前年同四半期比16.2%増）、セグメント利益は2億5千3百万円（前年同四半期比317.6%増）となりました。

⑦ リース及び割賦事業

リース及び割賦事業につきましては、売上高は22億1千4百万円（前年同四半期比44.8%増）、セグメント利益は8千1百万円（前年同四半期比53.5%増）となりました。

⑧ その他

その他につきましては、売上高は2億5千6百万円（前年同四半期比41.2%減）、セグメント利益は0百万円（前年同四半期比91.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して6千9百万円減少し、317億4千4百万円となりました。主な要因は、流動資産の受取手形及び売掛金13億3千8百万円増加、商品及び製品10億6千4百万円減少、短期貸付金4億3千4百万円増加、未収還付法人税等3億7千5百万円減少、投資その他の資産の投資有価証券3億1千6百万円減少等であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して6億9千1百万円減少し、83億6千3百万円となりました。主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金6億2千4百万円減少、未払法人税等1億7千4百万円増加、固定負債の負ののれん2億9百万円減少等であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して6億2千1百万円増加し、233億8千1百万円となりました。主な要因は、四半期純利益11億3千4百万円の計上、配当金4億3千7百万円の支払、その他有価証券評価差額金5千9百万円減少等であります。この結果、自己資本比率は73.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、98億7千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して5百万円増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は11億2千5百万円(前年同四半期は14億4千9百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益18億3千7百万円、たな卸資産の減少額10億7千1百万円、法人税等の還付額3億7千6百万円等の収入に対し、売上債権の増加額13億5千万円、仕入債務の減少額6億3百万円、法人税等の支払額4億2千4百万円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億2千8百万円(前年同四半期は4億5千1百万円の使用)となりました。これは主に、貸付金の回収による収入1億8千1百万円、投資有価証券の売却による収入1億1千2百万円等の収入に対し、貸付による支出6億2千6百万円、定期預金の預入による支出2億円等の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4億7千8百万円(前年同四半期は5億1千5百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額4億3千7百万円等の支出があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年8月19日付の「平成23年6月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

・会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

・法人税率の変更等による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.69%から、平成24年7月1日に開始する連結会計年度から平成26年7月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.01%に、平成27年7月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.64%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は83百万円減少し、法人税等調整額は69百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,893	10,097
受取手形及び売掛金	4,559	5,897
リース投資資産	536	553
商品及び製品	3,495	2,430
仕掛品	106	44
未成工事支出金	221	280
原材料及び貯蔵品	503	489
繰延税金資産	426	371
短期貸付金	435	869
未収還付法人税等	389	13
その他	491	379
貸倒引当金	△41	△37
流動資産合計	21,015	21,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,586	1,565
土地	4,274	4,287
その他(純額)	310	311
有形固定資産合計	6,171	6,164
無形固定資産		
のれん	894	814
その他	188	160
無形固定資産合計	1,082	974
投資その他の資産		
投資有価証券	2,382	2,066
長期貸付金	218	228
繰延税金資産	720	704
その他	405	396
貸倒引当金	△183	△181
投資その他の資産合計	3,544	3,214
固定資産合計	10,798	10,354
資産合計	31,814	31,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,021	3,397
未払法人税等	219	394
賞与引当金	99	100
製品保証引当金	22	18
受注損失引当金	34	24
その他	2,137	2,063
流動負債合計	6,534	5,999
固定負債		
退職給付引当金	776	823
資産除去債務	12	7
負ののれん	328	118
その他	1,401	1,414
固定負債合計	2,519	2,364
負債合計	9,054	8,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,049	9,049
利益剰余金	10,612	11,308
自己株式	△1,188	△1,188
株主資本合計	23,473	24,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△218	△278
繰延ヘッジ損益	5	7
為替換算調整勘定	△500	△517
その他の包括利益累計額合計	△713	△788
純資産合計	22,759	23,381
負債純資産合計	31,814	31,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	12,847	13,965
売上原価	8,055	8,788
売上総利益	4,791	5,177
販売費及び一般管理費		
役員報酬	96	103
給料及び手当	1,162	1,170
賞与	173	192
賞与引当金繰入額	58	83
退職給付費用	109	97
減価償却費	107	105
のれん償却額	81	80
貸倒引当金繰入額	10	△3
その他	1,680	1,644
販売費及び一般管理費合計	3,480	3,475
営業利益	1,311	1,701
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	12	12
負ののれん償却額	209	209
為替差益	—	6
その他	42	56
営業外収益合計	267	291
営業外費用		
支払利息	2	2
持分法による投資損失	3	4
為替差損	18	—
デリバティブ評価損	—	8
その他	4	4
営業外費用合計	29	20
経常利益	1,548	1,973
特別利益		
投資有価証券売却益	40	0
その他	9	0
特別利益合計	50	0
特別損失		
固定資産除却損	3	14
投資有価証券売却損	0	26
投資有価証券評価損	86	93
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29	—
その他	25	1
特別損失合計	144	135
税金等調整前四半期純利益	1,454	1,837

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
法人税、住民税及び事業税	122	606
法人税等調整額	316	96
法人税等合計	439	703
少数株主損益調整前四半期純利益	1,015	1,134
少数株主利益	—	—
四半期純利益	1,015	1,134

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,015	1,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78	△59
繰延ヘッジ損益	△0	2
為替換算調整勘定	△53	△17
その他の包括利益合計	24	△74
四半期包括利益	1,039	1,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,039	1,059
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,454	1,837
減価償却費	161	154
負ののれん償却額	△209	△209
投資有価証券評価損益 (△は益)	86	93
投資有価証券売却損益 (△は益)	△40	26
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△2	△4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14	1
受取利息及び受取配当金	△15	△19
支払利息	2	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△301	△1,350
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△594	1,071
仕入債務の増減額 (△は減少)	382	△603
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29	—
関係会社清算損益 (△は益)	24	—
その他	293	162
小計	1,257	1,156
利息及び配当金の受取額	15	19
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△244	△424
法人税等の還付額	424	376
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,449	1,125
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△200
定期預金の払戻による収入	13	—
有形固定資産の取得による支出	△52	△98
無形固定資産の取得による支出	△37	△4
投資有価証券の取得による支出	△42	△0
投資有価証券の売却による収入	84	112
貸付けによる支出	△867	△626
貸付金の回収による収入	460	181
その他	△10	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△451	△628
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△48	△0
配当金の支払額	△439	△437
その他	△28	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△515	△478
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	△12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	450	5
現金及び現金同等物の期首残高	6,747	9,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,198	9,879

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	2,635	1,081	947	3,388	1,160	1,667	1,528	12,410	436	—	12,847
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	—	—	48	12	—	—	16	78	△0	△78	—
計	2,635	1,081	996	3,401	1,160	1,667	1,545	12,488	436	△78	12,847
セグメント 利益	332	168	139	272	195	60	53	1,223	9	79	1,311

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額79百万円には、セグメント間取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益87百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれんの発生益の認識はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	2,869	1,510	884	3,315	975	1,938	2,214	13,708	256	—	13,965
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	—	—	30	19	—	—	12	62	0	△63	—
計	2,869	1,510	915	3,334	975	1,938	2,226	13,771	257	△63	13,965
セグメント 利益	415	346	128	307	110	253	81	1,644	0	56	1,701

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額56百万円には、セグメント間取引消去31百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益25百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれんの発生益の認識はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。